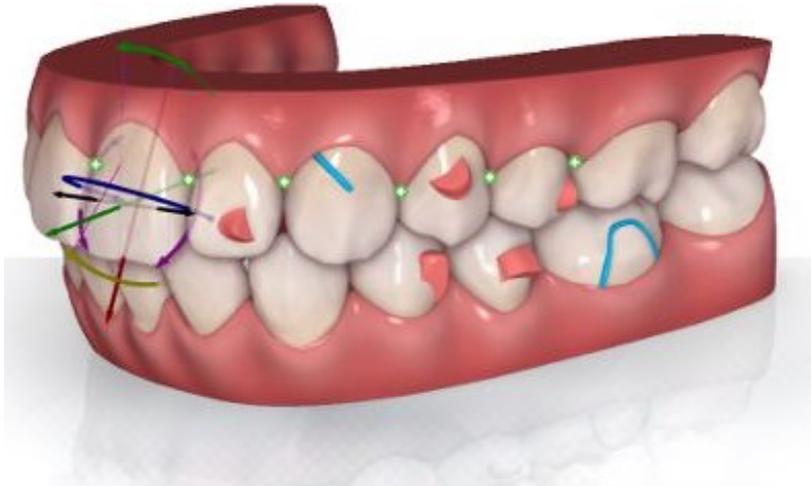


アタッチメントと顎間ゴムについて

アタッチメントとは、インビザライン矯正治療中に歯につけるレジンの突起のことを言います。



治療計画では認識しやすくピンクに色を変えています



見えにくいですが、側方歯にアタッチメントがついています

アタッチメントとアライナーを密着させることで、歯に対して三次元的な力を加えることができます。

アタッチメントはその歯を動かすためにつけるのか、他の歯を動かすための固定としてつけるのか、で種類が変わってきます。また治療計画でどのように動かすのかでも種類が異なりますので、一概にこの形のアタッチメントだからこうなる、というものはありません。

また矯正治療が進んで追加修正を行う際に、アタッチメントを変更することもあります。

口腔内写真のように、歯と同じ色のレジンを用いますので全く目立たないというわけではありませんが、見えにくいように配慮してアタッチメントを設定しております。

アタッチメントと顎間ゴムについて

結婚式、卒業式、入学式など節目で写真撮影が行われる際には、アタッチメントを外して撮影をしていただくことも可能です。（撮影終了後はまたご来院いただき再度設置をします。）

また歯を動かす際に顎間ゴムを併用することがあります。

口腔内写真の方に、ゴムをかけるボタンが付いています。（下の方は接着力と強度を考慮しメタルを接着していますが、透明のタイプもご用意できますので、お気軽にお申し付けください。特にご希望がない場合、下はメタルを接着します。）

歯を動かす際、力を加えていくのですが、その力の補助として使用します。基本的にはアライナーと同等の時間の顎間ゴムの装着をお願いいたします。

顎間ゴムの強さや、ゴムのかける位置は患者様ごとに異なります。顎間ゴムに関しても審美面を考慮し、目立ちにくい箇所をご提案させていただきます。